

授 業 履 修

1. 時間数と単位

(1) 単位

単位とは、一定の学修量を示す基準となるもので、授業科目には種類や講義時間数、実験・実習時間数などによってそれぞれの単位数が定められている。

これらの授業科目を履修し、試験やその他の方法による単位認定に合格すれば単位が修得できる。

(2) 単位の計算方法

授業科目は、その形態により講義、演習、実験・実習又は実技にわかれている。

各授業科目の単位数は、標準として、1単位の授業科目を教室外での学修（自学自習）もあわせて、45時間の学修を必要とする内容で構成されている。

本学での単位の計算方法については、学則第24条を参照のこと。

(3) CAP制について

①CAP制とは

学生が1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を設定すること。

②CAP制導入の目的

学修すべき授業科目を精選し、履修登録した科目に対して、事前事後も含めた十分な学修時間を確保することが目的である。授業内容を深く身につけ、各学期にわたって適切に授業科目を履修すること。

③上限単位数と対象科目

	国文学科	子ども学科
1年次	50単位以内	65単位以内
2年次	50単位以内	65単位以内

*国文学科における上記制限単位数には、卒業単位に算入しない資格科目は含まない。

*子ども学科における上記制限単位数には、免許・資格単位を含む。ただし、認定絵本土の資格に関する科目は含まない。

2. 学期と授業時間

(1) 学期

- ・春学期 4月 1日 ～ 9月14日
- ・秋学期 9月15日 ～ 3月31日

(2) 授業時間

講時	1講時	2講時	3講時	4講時	5講時
時間	9:05～10:35	10:45～12:15	12:55～14:25	14:35～16:05	16:15～17:45

*本学では90分授業で2時間分の授業とみなす。

3. 授業科目

教育課程は、教養科目・専門科目・自由選択科目・教職に関する科目・保育士の資格に関する科目・司書の資格に関する科目・司書教諭の資格に関する科目・認定絵本土の資格に関する科目にわけて編成されている。また、各授業科目には、その内容により必修・選択必修・選択の科目にわけられている。

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目で、1科目でも単位が修得できなければ卒業できない科目。
選択必修科目	いくつかの科目の中から、履修しようとする科目を選択し、その科目を必ず履修し単位を修得しなければならない科目。
選択科目	履修希望の科目を自由に選択し、単位を修得する科目。

4. 休講・補講・集中講義

(1) 休講

- ①大学の行事あるいは授業担当教員のやむを得ない理由により、授業ができなくなった場合には休講となる。
- ②休講の掲示がなく、授業開始から 30 分経過しても授業担当教員が出講しない場合は、学務課に問い合わせること。
- ③休講は、学務課掲示板に掲示するので登下校時必ず確認すること。

※ポータルサイトやメール等でお知らせする場合があります。

- ④特別警報・暴風警報（暴風雪警報含む）が滋賀県に発令された場合は、次にしたがること。

	気象警報等の解除時刻	授業措置
特別警報 暴風（雪）警報	午前 7 時までに解除	平常どおり 1 講時から授業
	午前 10 時までに解除	3 講時から授業
	正午までに解除	4 講時から授業
	正午の時点で解除されない	終日休講

(注)・上記警報が滋賀県では発令されておらず、居住地域（滋賀県外）では発令されている場合、当日出席せず、翌日以降、欠席した日から起算して 1 週間以内に学務課窓口申し出ること。

- ・授業開始後、特別警報・暴風（雪）警報が発令された場合は、掲示・放送などで対応を指示する。
- ・子ども学科の学生で、介護等体験期間中や実習期間中の午前 7 時の段階で、上記警報が実習中の居住地もしくは介護等体験場所や実習園所在地に発令されている場合、実習を中断し自宅で待機すること。また、午前 7 時以降に警報が解除された場合も、当該日の介護等体験や実習は一日中断すること。その他、介護等体験中や実習期間中の対応については、実習ガイダンス等で説明する。

- ⑤公共交通機関（JR）が不通の場合は、次にしたがること。

	交通機関の開通時刻	授業措置
交通機関不通	午前 7 時までに開通	平常どおり 1 講時から授業
	午前 10 時までに開通	3 講時から授業
	正午までに開通	4 講時から授業
	正午の時点で開通しない	終日休講

(注)・対象となる交通機関：滋賀県内の JR 琵琶湖線

- ・その他の交通機関が不通で、大学に辿り着くことが困難な場合、欠席した日から起算して 1 週間以内に学務課窓口申し出ること。
- ・気象警報の発令・公共交通機関の不通などにより休講とする場合は、その旨をホームページ等に掲載するので、確認すること。

- ⑥その他大学が必要と認めた場合は休講の措置をとる場合がある。

(2) 補講

- ・休講となった授業に対しては補講を行う。
- ・補講は、授業担当教員の判断で授業の空いている時間に行う。補講の日時は、学務課掲示板で連絡する。
- ・祝日、教育実習、保育実習で休講となった授業については、振替授業を行う。
- ・土曜日に補講日や予備日を設けているので、学年暦で確認しておくこと。

(3) 集中講義

一定期間に集中して行う授業で、これらの授業科目は事前におおむねの実施期間を学年暦に示している。日程等の詳細については、その都度掲示するので学務課掲示板を確認すること。

5. 欠席・遅刻・早退・公欠

- (1) 授業科目の出席時数が、開講時数の3分の2未満の者については、原則として単位認定は行わない。ただし、資格取得要件等において、別に出席時数に定めがある場合は、単位認定に必要な出席時数を別に定める。
- (2) 遅刻とは、授業開始後30分以内に教室に入室し受講する場合をいい、早退とは、授業終了の30分以内に退出する場合をいう。遅刻・早退は通算3回をもって欠席1回とみなす。
- (3) 公欠とは、大学が公欠と認めた場合、その授業を出席として扱う欠席である。次の項目に該当する場合には、願い出によりその欠席を公欠（保育士養成コースは公欠に準ずる扱い）とする。該当する場合は、まずは学務課へ学生本人が電話等で連絡し、公欠届または欠席理由届及び添付書類を学務課窓口で提出すること。

①忌引き

1 親等（父母）・・・・・・・・・・7日以内

2 親等（祖父母・兄弟・姉妹）・・・・・・・・3日以内

3 親等（曾祖父母・おじ・おば）・・・・・・・・1日

※会葬礼状等を添付

②学校保健安全法施行規則第19条に規定する感染症による出席停止の期間

※医師の診断書もしくは「学校感染症罹患証明書（本学様式）」を添付

※新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザ罹患時には次のいずれかを添付

【医療機関を受診または検査機関で陽性となった場合】

・医師の診断書

・本学様式の学校感染症罹患証明書

・医療機関を受診したことが分かる書類（記載内容：受診日、学生本人氏名、発行機関名）（コピー可）

・検査結果が分かる書類（記載内容：検査日、検査結果、学生本人氏名）（コピー可）

【医療機関を受診せず自己検査し、陽性となった場合】*国が承認した検査キットの結果のみ有効

・以下ア～ウを全て1つに入れた画像（データまたは印刷したもの）を提出すること。

ア 検査した検査キット（キットに検査日、氏名を記入すること）

イ 学生証

ウ 検査キットの品名等がわかるもの（箱や検査キットに同封されていた添付書類）

【いずれも提出が困難な場合（検査キットを捨てた等）】

・大学指定の事由書に事由を記入して提出

③その他、特に本学が公欠に相当すると認めた場合

- (4) 公共交通機関の遅延・運休に伴い、授業開始後に入室した場合、授業終了後に、担当教員に各公共交通機関のホームページより印刷した遅延証明書の提出、または、スマートフォン等の画面を提示すること。
- (5) 居住地の気象状況等の都合で欠席の場合、欠席した日から起算して1週間以内に学務課窓口申し出ること。

6. 卒業

本学を卒業するためには、2年以上在学（休学期間を除く）し、下記のとおり単位を修得しなければならない。

学科	教養科目	専門科目	合計
国文学科	13単位以上	50単位以上	63単位以上
子ども学科	13単位以上	50単位以上	63単位以上

7. 試験

(1) 試験の方法と時期

- ・試験は、通常春・秋学期末に設ける定期試験期間に実施する。ただし、授業科目によっては、実施時期が異

なる場合もある。また、授業科目によっては、レポート・作品・実技等により試験を実施する場合もある。指定された期限内に提出されないときは評価されない。

- ・春学期定期試験は、7月下旬から8月下旬にかけて、各学科、学年ごとに実施する。秋学期定期試験は、1月、各学科、学年ごとに実施する。なお、定期試験日程、時間割はその都度掲示する。

(2) 試験時間

講時	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時
時間	10 : 00～11 : 00	11 : 10～12 : 10	13 : 00～14 : 00	14 : 10～15 : 10	15 : 20～16 : 20

(3) 受験資格

次の一つに該当する者は、原則として試験を受けることはできない。

- ①授業科目の出席時数が開講時数の3分の2未満の者（単位認定に必要な出席時数を満たしていない者）。
- ②授業料等の納付金を指定期間内に納入していない者。
- ③学生証のない者。

(4) 受験心得

- ・試験場では、試験監督者の指示にしたがうこと。
- ・試験場では、学生証を机上に提示すること。
※学生証を忘れた場合は、学務課で仮学生証（当日限り）の交付をうけること。
- ・携帯電話等の電子機器類は電源を切り、かばんの中にしまっておくこと。
- ・持ち込みを許可されているノート類は、自筆のものに限る。
- ・試験開始後 15 分以上経過した後の入場は認めない。
また、試験開始後、30 分以上経過しなければ退出することはできない。
- ・受験上の注意等については、その都度掲示する。

(5) 不正行為

試験中に不正行為があった場合、当該試験科目は0点とする。

8. 単位の認定・成績の評価

(1) 単位の認定

- ・単位の認定は、授業科目の出席時数が、授業時間の3分の2未満の者については、単位の認定は行わない。ただし、資格取得要件等で、別に出席時数に定めがある場合は、単位認定に必要な出席時数を別に定める。
- ・単位の認定は、定期試験（レポート、作品、実技を含む）の成績と平常の成績の評価に基づき行う。

(2) 成績の認定

- ・成績評価は 100 点を満点として評点化した後、次表のとおり認定、評価する。合格点は 60 点以上とし、評価はC評価以上を合格として認定する。

区分	評価	成績評価基準（評点）	G P	評価内容
合格	S（秀）	100～90点	4.0	到達目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
	A（優）	89～80点	3.0	到達目標を十分に達成している
	B（良）	79～70点	2.0	到達目標を達成している
	C（可）	69～60点	1.0	到達目標を最低限達成している
不合格	D（不可）	59点以下	0.0	到達目標を達成していないので再履修が必要である
認定	E（認定）	—	—	本学以外で修得した科目を単位として認めたもの

・GPA算出方法

($4.0 \times \text{秀の修得単位数} + 3.0 \times \text{優の修得単位数} + 2.0 \times \text{良の修得単位数} + 1.0 \times \text{可の修得単位数}$) \div 総履修登録単位数 (不可の単位数も含む。)

・GPAの対象とならない授業科目

1. 履修登録取消の手続きをした科目。
2. 本学以外で修得した科目を単位として認めたもの。

(3) 成績の通知

各学期の定められた時期に成績票を学務課窓口で本人に配布し、保証人には郵送する。

(4) 成績評価に関する疑義申し立て

- ・通知を受けた成績評価について疑義がある者は以下の場合に限り申し立てすることができる。
 - ①成績の誤記入等、明らかに教員の誤りであると思われるもの。
 - ②シラバス等に記載されている到達目標、成績評価・基準から、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの。
- ・成績開示後1週間以内に「成績評価確認願」に記入の上、学務課窓口へ提出すること。
- ・正当な理由と認められた場合に限り受け付けるものとする。
- ・指定された方法、期間以外の疑義申し立ては一切受け付けない。

(5) 追試験

- ・定期試験を次の理由で受けられなかった場合、追試験を受けることができる。
 - ①不慮の事故や火災・風水害・その他の災害を受け、受験不可能な場合 (事故証明書や被災証明書等添付)
 - ②公共交通機関の不通、または延着の場合 (当該機関発行の証明書添付)
 - ③本人の病気により受験不可能になった場合 (医師の診断書または大学が指定する書類を添付)
 - ④親族 (配偶者及び三親等以内) の死亡による忌引きの場合 (会葬礼状等を添付)
 - ⑤単位互換科目の授業・試験と本学試験日程が重なった場合
 - ⑥教育実習、保育実習、施設実習、介護等体験の場合
 - ⑦裁判員制度により呼び出しがあった場合 (呼出状等添付)
 - ⑧学長が認めた場合 (大学が指定する書類等添付)
 - ⑨特別の事情により、事前に事由書を添えて学務課に届け出て許可を受けた場合
- ・追試験を受けようとする場合は、事由書(本学様式)と必要添付書類を当該試験翌日(土・日・祝・大学閉校日除く)までに学務課に提出すること(やむをえず翌日までに提出が難しい場合は、学務課へ相談すること)。
※前③号の添付書類はP.29 公欠届の添付書類に同じ。
- ・追試験許可者発表を必ず確認し、期限までに所定の手続きを行うこと。
- ・前⑨号に該当すると考えられる場合で、何らかの理由で事前に事由書を提出できない場合は、試験開始までに学務課に連絡すること。
- ・追試験の評価は、100%とする。ただし、前⑨号の事由の場合の評価は、80%を上限とする。
- ・最終評価はS評価を上限とする。
- ・指定された日時、内容で行い、受験機会は一度のみとする。

(6) 再試験

- ・学修の評価が不可のため単位が認定されない科目については、授業科目担当教員が必要と認めた場合、再試験を行うことがある。
- ・再試験を受けようとする場合は、再試験願に受験料(1科目につき2,000円)を添えて総務課会計窓口にて納入手続き後、学務課に願い出ること。
- ・再試験の評価は、60%を上限とする。再試験対象者の最終評価は、C評価を上限とする。

- ・不正行為があった場合は、当該授業科目については再試験を受けることを認めない。
- ・再試験を欠席した場合は、評価は不合格とする。

9. 履修

(1) 履修計画

卒業の認定を受けるためには、所定の単位を修得しなければならない。また、卒業と同時に免許・資格を取得するためにはそれぞれ、定められた単位を修得しなければならない。

開講する授業科目のうち、どのような科目を受講するかについては、将来の目標や進路などをよく考え研究し、適切な履修計画を立てること。

(2) 履修登録

受講を希望する授業科目については年度初め、もしくは秋学期の定められた期間中に所定の手続き方法で履修登録をしなければならない。

なお、履修変更期間外に教育実習及び保育実習を取り止める場合は、実習の開始までに履修登録取り消し届を学務課に提出すること。そのほか、病気や怪我等により、長期欠席が必要となった場合や特定科目の履修が困難となった場合は、学務課にて所定の手続きをすることで取り消しを認められる場合がある。その場合は、学務課窓口にご相談すること。また、登録手続に不備がある授業科目については、たとえ授業に出席していても単位は認められないので注意すること。

履修学生数が極端に少ない授業科目は、開講できない場合もある。

(3) 履修登録の日程

*履修登録および変更手続きは、受付期間以外は認めないので注意すること。受付窓口は学務課とする。

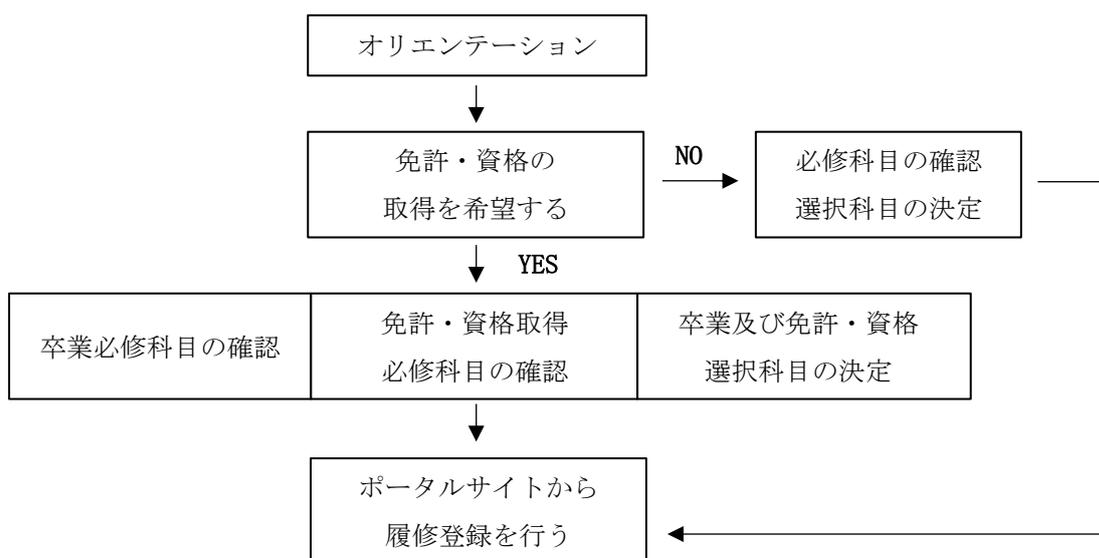
*令和7年度入学生（1年生）

項目	日程	内容
講義の開始	4月9日（水）	
履修説明会・履修相談	4月上旬	履修についての説明会を行う。説明を聞いた上で履修登録を行うこと。また希望者を対象に履修相談会も実施する。
履修登録期間	4月上旬	春学期の履修登録と秋学期の仮の履修登録を行う。所定の手続き方法で履修登録をすること。（ただし、登録は1年次履修分のみ行う）
春学期 開講科目 履修変更期間	春学期 授業開始日 より概ね1週間	登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。 ◎春学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。
秋学期 開講科目 履修変更期間	7月上旬	秋学期より開講する科目について、仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。
	秋学期 授業開始日 より概ね1週間	履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。 ◎秋学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。
2年次 開講科目 履修仮登録・履修相談	12月中旬	2年次の春学期・秋学期開講科目の仮登録を行う。詳細は掲示で連絡する。

*令和6年度入学生（2年生）

項目	日程	内容
講義の開始	4月2日（水）	
春学期 開講科目 履修変更期間	春学期 授業開始日 より概ね1週間	1年次末に仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。願い出のない場合は自動的に本登録される。 ◎春学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。
秋学期 開講科目 履修変更期間	7月上旬	秋学期より開講する科目について、仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。
	秋学期 授業開始日 より概ね1週間	履修科目の変更を希望する場合のみ、所定の用紙に記入後、学務課に願い出ること。 ◎秋学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。

*図解！オリエンテーションから履修登録の完了まで（概要）



(4) 再履修

- ・卒業必修科目の単位を修得できなかった場合は、大学に願い出て、認められた場合には、再履修することができる。ただし、原則、1年次配当のみを対象とする。
- ・履修した授業科目の単位が修得できなかった場合は、その授業科目を大学の決定により再履修することができる場合がある。
- ・再履修科目の登録は必ず学務課窓口で所定の手続きを行うこと。

(5) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度

在学中に滋賀県内の他の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。この制度で受講した授業科目の単位は、本学の教養科目の単位として10単位まで認定する。

手続き等の詳細については、学務課で指示を受けること。

10. 開講科目表

令和7年度入学生 国文学科 授業科目表

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考	
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期	司書	絵本士 認定	キャリア 実践 実務士	イン スタ グラ ム		キャン プ
基礎カプログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○									
基礎カプログラムⅡ	1		演習	30		○								
基礎カプログラムⅢ	1		演習	30			○							
基礎カプログラムⅣ	1		演習	30				○						
ストレスマネジメント	2		講義	30	○									
自然と環境	2		講義	30	○								◎	
英語コミュニケーションⅠ	1		演習	30			○							
英語コミュニケーションⅡ	1		演習	30				○						
情報リテラシーの基礎	2		演習	30	○						●			
情報リテラシーの応用	2		演習	30		○					●			
シティズンシップ論	2		講義	30				○						
ビジネスマナー	2		講義	30		○					●			
キャリアデザイン	2		講義	30		○								
ボランティア	2		演習	30				○						
日本文学史	2		講義	30	○									
日本史概論	2		講義	30	○									
古典文学講読Ⅰ	2		講義	30	○									
古典文学講読Ⅱ	2		講義	30		○								
近現代文学講読Ⅰ	2		講義	30	○									
近現代文学講読Ⅱ	2		講義	30		○								
文学と社会	2		講義	30				○						
文学と地域	2		講義	30				○						
ジェンダーと文学	2		講義	30				○			●			
映像文化論	2		講義	30	○									
メディア文化論	2		講義	30				○						
現代文化論	2		講義	30		○								
異文化理解	2		講義	30				○						
地域の歴史と民俗文化	2		講義	30				○						
子どもと文学	2		講義	30				○						
子どもの心理学	2		講義	30					○					
文章表現	2		講義	30	○									
日本語学	2		講義	30	○									
書道Ⅰ	2		演習	30	○									
書道Ⅱ	2		演習	30		○								
書道Ⅲ	2		演習	30			○							
書道Ⅳ	2		演習	30				○						
基礎ゼミ	2		演習	30		○								
ゼミⅠ	2		演習	30				○						
ゼミⅡ	2		演習	30					○					
インターンシップ	2		演習	30			○				●			
絵本の世界Ⅰ	2		講義	30		○					◎			
絵本の世界Ⅱ	2		講義	30		○					◎			
生涯学習概論	2		講義	30	○					◎				
図書館概論	2		講義	30	○					◎				
児童サービス論	2		講義	30				○		◎				
図書・図書館史	2		講義	30		○				◎				
図書館制度・経営論	2		講義	30				○		◎				
図書館情報技術論	2		講義	30		○				◎				
図書館サービス概論	2		講義	30	○					◎				
情報サービス論	2		講義	30		○				◎				
情報サービス演習Ⅰ	1		演習	30				○		◎				
情報サービス演習Ⅱ	1		演習	30					○	◎				
図書館情報資源論	2		講義	30	○					◎				
情報資源組織論	2		講義	30	○					◎				
情報資源組織演習Ⅰ	1		演習	30		○				◎				
情報資源組織演習Ⅱ	1		演習	30				○		◎				
図書館施設論	2		講義	30		○				◎				

・卒業単位は、教養科目13単位以上、専門科目50単位以上、計63単位以上

・資格の取得欄

1.◎は資格の必修科目

2.●は6単位以上選択する(卒業必修も含む)。

専門科目/資格に関する専門科目

令和6年度入学生 国文学科 授業科目表

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考	
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期	司書	絵本認定 士	キャリア 実践 実務士	イン スタ グラ ム		キャン プ
教養科目	基礎カプログラムⅠ(初年次教育)	1	演習	30	○									・卒業単位は、教養科目13単位以上、専門科目50単位以上、計63単位以上 ・資格の取得欄 1.◎は資格の必修科目 2.●は6単位以上選択する(卒業必修も含む)。
	基礎カプログラムⅡ	1	演習	30		○								
	基礎カプログラムⅢ	1	演習	30			○							
	基礎カプログラムⅣ	1	演習	30				○						
	ストレスマネジメント	2	講義	30	○								◎	
	自然と環境	2	講義	30	○									
	英語コミュニケーションⅠ	1	演習	30			○							
	英語コミュニケーションⅡ	1	演習	30				○						
	情報リテラシーの基礎	2	演習	30	○						●			
	情報リテラシーの応用	2	演習	30		○					●			
	シティズンシップ論	2	講義	30				○						
	ビジネスマナー	2	講義	30		○					●			
	キャリアデザイン	2	講義	30		○								
ボランティア	2	演習	30				○							
専門科目	日本文学史	2	講義	30	○									
	日本史概論	2	講義	30	○									
	古典文学講読Ⅰ	2	講義	30	○									
	古典文学講読Ⅱ	2	講義	30		○								
	近現代文学講読Ⅰ	2	講義	30	○									
	近現代文学講読Ⅱ	2	講義	30		○								
	文学と社会	2	講義	30				○						
	文学と地域	2	講義	30				○						
	ジェンダーと文学	2	講義	30			○				●			
	映像文化論	2	講義	30	○									
	メディア文化論	2	講義	30				○						
	現代文化論	2	講義	30		○								
	異文化理解	2	講義	30			○							
	地域の歴史と民俗文化	2	講義	30			○							
	子どもと文学	2	講義	30			○							
	子どもの心理学	2	講義	30				○						
	文章表現	2	講義	30	○									
	日本語学	2	講義	30	○									
	書道Ⅰ	2	演習	30	○									
	書道Ⅱ	2	演習	30		○								
	書道Ⅲ	2	演習	30			○							
	書道Ⅳ	2	演習	30				○						
	基礎ゼミ	2	演習	30		○								
	ゼミⅠ	2	演習	30			○							
	ゼミⅡ	2	演習	30				○						
	インターンシップ	2	演習	30			○				●			
	絵本の世界Ⅰ	2	講義	30		○					◎			
	絵本の世界Ⅱ	2	講義	30		○					◎			
	専門科目に 関する 資格に 関する 専門科目 に関する 資格に 関する 専門科目	生涯学習概論	2	講義	30	○				◎				
		図書館概論	2	講義	30	○				◎				
児童サービス論		2	講義	30			○		◎					
図書・図書館史		2	講義	30	○				◎					
図書館制度・経営論		2	講義	30			○		◎					
図書館情報技術論		2	講義	30		○			◎					
図書館サービス概論		2	講義	30		○			◎					
情報サービス論		2	講義	30		○			◎					
情報サービス演習Ⅰ		1	演習	30			○		◎					
情報サービス演習Ⅱ		1	演習	30				○	◎					
司書の資格に関する専門科目	図書館情報資源論	2	講義	30	○				◎					
	情報資源組織論	2	講義	30	○				◎					
	情報資源組織演習Ⅰ	1	演習	30		○			◎					
	情報資源組織演習Ⅱ	1	演習	30			○		◎					
	図書館施設論	2	講義	30		○			◎					

令和7年度入学生 子ども学科 授業科目表

小学校の表記は小学校教諭養成コースを、保育士の表記は保育士養成コースを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)						備考	
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭	絵本士	認定		C I ※
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士								
教養科目	基礎カプログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○	○													・卒業単位は、 教養科目13単 位以上、専門科 目50単位以 上、計63単位 以上 ・免許・資格の 取得欄 1.◎は免許・資 格の必修科目 (卒業必修も含 む) 2.●は2科目以 上2単位以上を 選択する。 3.●1は1科目 以上2単位以上 を選択する。 4.●2は2科目 以上4単位以上 を選択する。 5.□は小学校お よび幼稚園とも に取得しようと するものは選択 する。 6.■は6単位以 上を選択する。 7.△は3単位以 上を選択する (卒業必修単位 も含む)
	基礎カプログラムⅡ	1		演習	30					○	○									
	健康とスポーツ	2		実・講	60			○	○				◎	◎	◎	◎				
	自然と環境	2		講義	30	○	○							■					◎	
	役立つ文章表現	2		講義	30	○	○								■					
	日本国憲法	2		講義	30					○	○			◎	◎		◎			
	英語コミュニケーションⅠ	1		演習	30					○	○			◎	◎	■	◎			
	英語コミュニケーションⅡ	1		演習	30						○	○		◎	◎	■	◎			
	教育情報処理	2		演習	30						○	○		◎	◎	■	◎			
	シティズンシップ論	2		講義	30						○	○			■					
	キャリアデザイン	2		講義	30			○	○											
専門科目	教科及び教科の指導法に関する科目／領域及び保育内容の指導法に関する科目	国語科概論	2	講義	30	○							◎			◎				
		社会科概論	2	講義	30	○								◎			◎			
		算数科概論	2	講義	30	○								◎			◎			
		理科概論	2	講義	30	○								◎			◎			
		生活科概論	2	講義	30					○				◎			◎			
		家庭科概論	2	講義	30					○				●			●			
		英語科概論	2	講義	30			○						◎			◎			
		音楽科概論	1	演習	30					○				●			●			
		音楽Ⅰ(ピアノ)	1		実技	30	○	○												
		音楽Ⅱ(ピアノ)	1		実技	30			○	○										
		音楽Ⅲ(ピアノ)	1		実技	30					○	○			◎	◎	◎	◎		
		音楽Ⅳ(アンサンブル)	1		実技	30						○	○							
		図画工作Ⅰ	1		演習	30	○	○												
		図画工作Ⅱ	1		演習	30						○			●			●		
		体育科概論	1		演習	30	○								●			●		
		国語科教育法	2		講義	30			○						◎			◎		
		社会科教育法	2		講義	30			○						◎			◎		
		算数科教育法	2		講義	30			○						◎			◎		
		理科教育法	2		講義	30			○						◎			◎		
		生活科教育法	2		講義	30					○				●1			●1		
		家庭科教育法	2		講義	30						○			●1			●1		
		音楽科教育法	2		講義	30						○			●2			●2		
		図画工作科教育法	2		講義	30					○				●2			●2		
		体育科教育法	2		講義	30					○				●2			●2		
		英語科教育法	2		講義	30					○				◎			◎		
		保育内容総論	2		演習	30			○	○					□	◎	◎			
保育内容(健康)	2		演習	30						○	○		□	◎	◎					
保育内容(人間関係)	2		演習	30						○	○		□	◎	◎					
保育内容(環境)	2		演習	30				○	○				□	◎	◎					
保育内容(言葉)	1		演習	30				○	○				□	◎	◎					
保育内容(表現)	1		演習	30				○	○				□	◎	◎					
教育の基礎的理解に関する科目等	教職概論	2		講義	30	○	○													
	教育原理	2		講義	30			○	○											
	発達心理学	2		講義	30	○	○							◎	◎	◎	◎			
	特別支援教育	2		講義	30					○	○			◎	◎	△	◎			
	教育制度論	2		講義	30	○	○							◎	◎	△	◎			
	教育課程論	2		講義	30	○	○							◎	◎		◎			
	道徳の理論と指導法	2		講義	30			○						◎			◎			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		講義	30						○			◎			◎			
教育方法・技術論	2		講義	30					○	○			◎	◎	△	◎				

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)					備考		
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭	絵本士		認定	CI※
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士								
教育の基礎的理解に関する科目等	教育とICT活用	1	講義	15							○	◎				◎				
	生徒指導及び進路指導論	2	講義	30	○							◎				◎				
	幼児理解と援助	2	講義	30	○	○						□	◎	△						
	教育相談	2	講義	30					○	○			◎	◎	△	◎				
	教職実践演習(幼・小)	2	演習	30							○	○	◎	◎		◎				
	教育実習指導(小)	1	演習	45			○		○				◎			◎				
	教育実習指導(幼)	1	演習	45			○	○	○	○			□	◎						
	教育実習(小)	4	実習	120					集中					◎		◎				
	教育実習(幼)	4	実習	120						集中				◎						
	教育実習Ⅱ	2	実習	80							集中		□							
人権教育	2	講義	30							○	○									
専門科目 保育に関する専門科目	社会福祉	2	講義	30	○	○														
	カウンセリングマインド研究	2	講義	30								○			◎					
	保育原理	2	講義	30	○	○														
	保育者論	2	講義	30								○			◎					
	子どもの食と栄養	2	演習	30								○			◎					
	障害児保育	2	演習	30								○			◎					
	保育実習指導Ⅰ	1	演習	30				○							◎					
	保育実習指導Ⅱ	1	演習	30					○						◎					
	施設実習指導	1	演習	30				○							◎					
	保育実習Ⅰ	2	実習	80							集中				◎					
	施設実習	2	実習	80							集中				◎					
	保育実習Ⅱ	2	実習	80							集中				◎					
	保育実践演習	2	演習	30								○			◎					
	保育の計画と評価	2	講義	30						○					◎					
	子ども家庭支援の心理学	2	講義	30						○					◎					
	子育て支援	1	演習	30								○			◎					
	子ども家庭福祉	2	講義	30				○							◎					
	社会的養護Ⅰ	2	講義	30		○									◎					
	社会的養護Ⅱ	1	演習	30						○					◎					
	子どもの理解と援助	1	演習	30								○			◎					
	子どもの保健	2	講義	30		○									◎					
	子どもの健康と安全	1	演習	30				○							◎					
	子ども家庭支援論	2	講義	30								○			◎					
	乳児保育Ⅰ	2	講義	30		○									◎					
	乳児保育Ⅱ	1	演習	30				○							◎					
	幼児と健康	1	演習	15					○	○			□	◎	◎					
	幼児と人間関係	1	演習	15					○	○			□	◎	◎					
	幼児と環境	1	演習	15	○	○							□	◎	◎					
幼児と言葉	1	演習	15	○	○							□	◎	◎						
幼児と身体表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎						
幼児と音楽表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎						
幼児と造形表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎						
司書教諭の資格に関する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	30					○						◎					
	学校図書館メディアの構成	2	講義	30					○						◎					
	学習指導と学校図書館	2	講義	30							○				◎					
	読書と豊かな人間性	2	講義	30							○				◎					
	情報メディアの活用	2	講義	30							○				◎					
認定絵本士の資格に関する科目	絵本の世界Ⅰ	2	講義	30			○	○							◎					
	絵本の世界Ⅱ	2	講義	30			○	○							◎					

(注) 「免許・資格の取得」欄の「CI」はキャンプインストラクターを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)					備考	
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭	認定 絵本士		CI※
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士							
教育の基礎的理解に関する科目等	教育とICT活用	1	講義	15							○	◎			◎				
	生徒指導及び進路指導論	2	講義	30	○							◎			◎				
	幼児理解と援助	2	講義	30	○	○						□	◎	△					
	教育相談	2	講義	30					○	○			◎	◎	△	◎			
	教職実践演習(幼・小)	2	演習	30							○	○	◎	◎		◎			
	教育実習指導(小)	1	演習	45			○		○				◎			◎			
	教育実習指導(幼)	1	演習	45			○	○	○	○			□	◎					
	教育実習(小)	4	実習	120					集中					◎			◎		
	教育実習(幼)	4	実習	120					集中					◎					
	教育実習Ⅱ	2	実習	80						集中			□						
人権教育	2	講義	30							○	○								
専門科目 保育に関する専門科目	社会福祉	2	講義	30	○	○													
	カウンセリングマインド研究	2	講義	30								○			◎				
	保育原理	2	講義	30	○	○													
	保育者論	2	講義	30								○			◎				
	子どもの食と栄養	2	演習	30								○			◎				
	障害児保育	2	演習	30								○			◎				
	保育実習指導Ⅰ	1	演習	30				○							◎				
	保育実習指導Ⅱ	1	演習	30					○						◎				
	施設実習指導	1	演習	30				○							◎				
	保育実習Ⅰ	2	実習	80						集中					◎				
	施設実習	2	実習	80						集中					◎				
	保育実習Ⅱ	2	実習	80						集中					◎				
	保育実践演習	2	演習	30								○			◎				
	保育の計画と評価	2	講義	30						○					◎				
	子ども家庭支援の心理学	2	講義	30						○					◎				
	子育て支援	1	演習	30								○			◎				
	子ども家庭福祉	2	講義	30				○							◎				
	社会的養護Ⅰ	2	講義	30		○									◎				
	社会的養護Ⅱ	1	演習	30						○					◎				
	子どもの理解と援助	1	演習	30								○			◎				
	子どもの保健	2	講義	30		○									◎				
	子どもの健康と安全	1	演習	30				○							◎				
	子ども家庭支援論	2	講義	30								○			◎				
	乳児保育Ⅰ	2	講義	30		○									◎				
	乳児保育Ⅱ	1	演習	30				○							◎				
	幼児と健康	1	演習	15					○	○			□	◎	◎				
	幼児と人間関係	1	演習	15					○	○			□	◎	◎				
	幼児と環境	1	演習	15	○	○							□	◎	◎				
幼児と言葉	1	演習	15	○	○							□	◎	◎					
幼児と身体表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎					
幼児と音楽表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎					
幼児と造形表現	1	演習	15	○	○							□	◎	◎					
司書教諭の資格に関する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	30					○						◎				
	学校図書館メディアの構成	2	講義	30					○						◎				
	学習指導と学校図書館	2	講義	30						○					◎				
	読書と豊かな人間性	2	講義	30						○					◎				
	情報メディアの活用	2	講義	30						○					◎				
認定絵本士の資格に関する科目	絵本の世界Ⅰ	2	講義	30			○	○							◎				
	絵本の世界Ⅱ	2	講義	30			○	○							◎				

(注) 「免許・資格の取得」欄の「CI」はキャンプインストラクターを表す。